

温室効果ガスの排出量について

<概要>

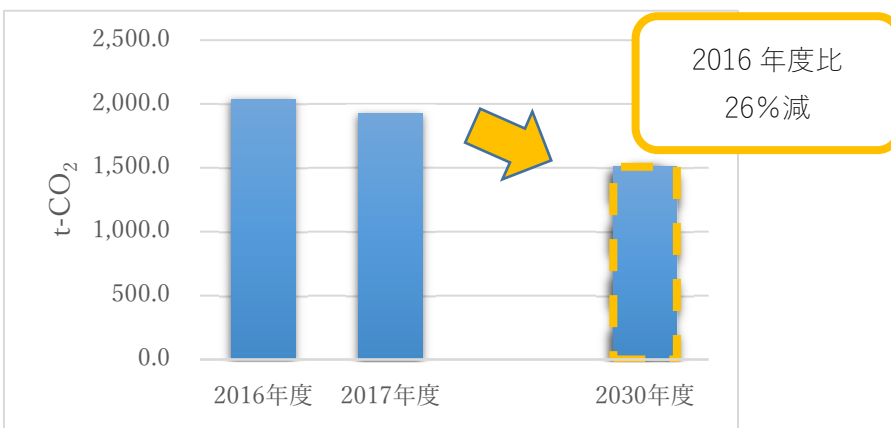
地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第1項に基づく地方公共団体実行計画として、令和元年8月に「小笠原村地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を策定。

同法第21条第10項に基づき、地方公共団体実行計画に基づく措置及び施策の実施の状況（温室効果ガス総排出量を含む。）を公表しなければならないとされており、今般、2020年度（令和2年度）の温室効果ガスの排出量が集計されたため、村のホームページで公表する。

（1）実行計画における温室効果ガス削減目標

国の地球温暖化対策計画に記載されている「日本の約束草案」に基づいた中期目標（我が国の中期目標として、我が国の温室効果ガス排出量を、2030年度に2013年度比で26.0%減）を踏まえ、本村の事務事業に伴い排出される温室効果ガス総排出量を、目標年度（2030年度）までに基準年度（2016年度）比で、26%削減することを目標とする。

	基準年度（2016年度）	目標年度（2030年度）
温室効果ガス排出量	2,038.6[t-CO ₂]	1,508.1[t-CO ₂]
削減率	—	26%



（2）温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量の推移

	温室効果ガス排出量	基準年度比	前年度比
2016年度 (基準年度)	2038.6(t-CO ₂)	100(%)	—
2017年度	1926.4(t-CO ₂)	94.5(%)	94.5(%)
2018年度	1797.1(t-CO ₂)	88.2(%)	93.3(%)
2019年度	1648.4(t-CO ₂)	80.9(%)	91.7(%)
2020年度	1682.6(t-CO ₂)	82.5(%)	102.0(%)

(内訳 その1) 購入電気使用の推移

	温室効果ガス排出量	購入電気使用量	排出係数
2016年度	1,404.3 (t-CO ₂)	2,710,948.5 (kWh)	0.000518 (t-CO ₂ /kWh)
2017年度	1,316.7 (t-CO ₂)	2,654,733.8 (kWh)	0.000496 (t-CO ₂ /kWh)
2018年度	1,267.5 (t-CO ₂)	2,743,565.5 (kWh)	0.000462 (t-CO ₂ /kWh)
2019年度	1,125.6 (t-CO ₂)	2,529,484.0 (kWh)	0.000445 (t-CO ₂ /kWh)
2020年度	1,080.9 (t-CO ₂)	2,502,137.1 (kWh)	0.000432 (t-CO ₂ /kWh)

(内訳 その2) 一般廃棄物の焼却の推移

	温室効果ガス排出量	焼却量
2016年度	412.5 (t-CO ₂)	677 (t)
2017年度	386.1 (t-CO ₂)	667 (t)
2018年度	319.6 (t-CO ₂)	618 (t)
2019年度	342.6 (t-CO ₂)	556 (t)
2020年度	394.5 (t-CO ₂)	603 (t)

【分析】

焼却量が前年度より増えたこと、焼却内容物の中で、プラスチック類がガス排出量増加に大きく影響を与えている。

【プラスチック類の推移】

ごみ質組成分析調査におけるプラスチック類（2016～2020年度）の推移

2016年度33.1% 2017年度32.8% 2018年度26.0% 2019年度34.8% 2020年度40.4%

(内訳 その3) 燃料使用（ガソリン、灯油、軽油、A重油、ガス）の推移

	温室効果ガス排出量
2016年度	221.9 (t-CO ₂)
2017年度	223.6 (t-CO ₂)
2018年度	210.0 (t-CO ₂)
2019年度	180.2 (t-CO ₂)
2020年度	207.1 (t-CO ₂)

【分析】

焼却量が前年度より増え、重油消費量が増加したこと。

(3) 今後の課題等

○節電意識を継続し、設備の入れ替え時等に省エネ化に取り組む。

一般廃棄物の焼却について

○焼却量減少を目的に、紙類・プラスチック類のリサイクルを推進する。

○焼却施設燃焼効率を目的に、厨芥類の水切り広報強化、施設耐火物の重点的保守を行う。